令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀県立唐津工業高等学校

1　前年度 評価結果の概要	授業でのICT機器の積極的な活用や、「数学会」等による基礎学力の定着の取組みにより、生徒の学習意欲や授業に対する興味・関心を高めることができた。また、地域貢献・連携を積極的におこない、地域から信頼される学校に変革している。生徒指導については、各科と各学年の連携を密にしながら全職員で情熱を持って指導に当たることにより、生活全般における規範意識の醸成に取組んでいる。特に、学校独自の取組みとして、ヒューマントレーニングを実施し、道徳心の育成やマナーの向上に取組んでいる。
2　学校教育目標	２１世紀を担う心身ともに健康でたくましく、知徳体の調和のとれた、視野の広い、工業や社会の発展に貢献できる人材を育成する。 （学校経営ビジョン） 「ものづくりによる人づくり」「部活動による人づくり」を柱として生徒が入学して良かった、保護者が入学させて良かったと思う学校づくり
3　本年度の重点目標	**① いじめ・暴力行為の防止と早期発見・迅速な対応** **② ものづくりによる「地域連携・貢献」の充実** **③ 部活動の入部率・定着率の向上と活動の活性化** **④ 規範意識の高揚と基本的生活習慣の定着** **⑤ 全生徒の進路実現のための進路指導の充実** **⑥ 清掃活動の充実と校内美化の向上** **⑦ 資格取得やコンテストへの積極的な挑戦**

4　重点取組内容・成果指標　　5　最終評価

(1)共通評価項目

重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 （数値目標）		達成度 （評価）	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	◎基礎学力の定着と夢の実現 （志を高める教育）	◎生徒に確かな基礎学力を身につけさせ進路実現100%を達成する。	・学力向上のために行っている「数学会」（学び直しの時間）や各種小テストを定期的に実施し、生徒の基礎学力定着を図る。 ・家庭学習の充実を図る。 ・生徒一人ひとりが、自らの将来について考え、希望する進路が実現できるよう、個々に応じた学習指導や進路相談、情報提供を行う。				
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身につける教育活動	○規範意識、公共モラル･マナーの向上、自他の生命尊重など、人格形成の一助となることを目指す。 ○「地域に愛される学校」を目指し、地域ボランティアへの積極的な参加（年間合計100名以上）を目指す。 ○ものづくりによる[地域連携・貢献」を行い、豊かな心を身に付けることを目指す。	・規範意識や道徳心の向上のため、本校独自の取組みである「ヒューマントレーニング」を年間13回行い、公共やSNSの問題等に真摯に向き合い考え行動できるようにする。 ・部活動を活性化させるため、1年生の全員入部を促進し部活動による人づくりを図る。 ・「地域連携・貢献」活動に積極的に参加し他者に対する思いやりの心や社会性、倫理観や正義感、感動する心などを醸成させる。				
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ問題の早期発見のためのアンケートを年間5回実施する。 ○いじめ問題が発生しないための環境づくりと啓発に取組む。	・ 複数担任によるホームルームやアンケートの実施、各学年団による昼休みの校内巡視などを積極的に行い、生徒とのコミュニケーションを密にし、いじめ･暴力行為の防止と早期発見及び迅速な対応を行い、すべての生徒が安心して学校生活が送れるようにする。 ・「ヒューマントレーニング」を年間13回行い自他の生命を尊重する心、他者への思いやりの心などを醸成させる。				
●健康・体つくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ○自らの健康に気を付け、問題を改善しようとする態度や実践力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%以上 ○朝食をとって登校する生徒80%以上 ○健康診断後の受診率の向上を図る。（受診率30%以上を目指す） ○インフルエンザ等の感染症による学級閉鎖「0」 ○新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症のｸﾗｽﾀｰ発生「0」	・生活習慣アンケート及び食に関する意識調査、健康状況調査を実施し、健康に関する意識付けを行う。 ・保健だよりや掲示物等を活用し、健康に関する情報に触れる機会を設け、心身の健康を保持増進するための態度を養う。 ・担任・部活動の顧問と連携し、異常があれば改善・回復するための行動が取れるようにする。				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校時間の上限を遵守する。	・定時退勤推進日と月1回の完全退勤日を設定し効率よい業務の遂行をできるように意識改革を行う。				

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 （数値目標）		達成度 （評価）	実施結果	評価	意見や提言
○特別活動	○部活動による人づくり	○部活動入部率80%を目指す。	・集会、個人面談等を利用し部活動の教育的効果、人格形成に対する効果等を説明し入部を督励する。1年生だけでなく、2年生の未入部生徒にも積極的に入部を督励する。				